さかいみなと Ms.通信

境港商工会議所女性会
〒684-8686 境港市上道町3002
（境港商工会議所内）
TEL 44−1111・FAX 42−6577

中商女性連福山大会に参加
横山雄二アナが記念講演

第31回中国地方商工会議所女性会連合会（中商女性連）福山大会が7月12日、「市政100周年・100万本のばらのまち」福山市で盛大に開催されました。参加者は、41女性会・450人で、当女性会からの参加は6人でした。

福山大会は、まず式典でスタート。商工会議所女性会の歌、女性会活動指針の唱和、出席女性会の紹介などがありました。

横山雄二アナ（右から3人目）と当会会員

また今大会では、広島商工会議所女性会が活動事例を発表。市内の子どもたちを対象に「戦後70周年広島から子どもたちの平和の書」と題する書展を公募で実施したことを報告しました。

同書展は、子どもたちに〝いのちと平和の大切さ〟について、理解や関心を深めて欲しいとの願いを込めたもの。入選した作品は、「戦争のない平和な世界が続きますように、明るい希望の光が見えますように」と、訴えかけているような書が多かったとのことでした。

次に広島を代表するアナウンサーの横山雄二氏（RCC中国放送）を招き、「女性活躍推進の本音と建前」をテーマに記念講演を実施。横山氏はアナウンサー、映画監督、俳優、執筆家、歌手、作詞家として非凡な活動を続けています。

横山氏は、自身のアナウンサーとしての経験や失敗談を交えながら「女性が活躍する中でみんなに覚えてもらうには、恥をかいてもそれを笑いに変えてその場を和ませ、印象を与えることが大切。そして気負わず、1歩か2歩下がった所からスタートすれば、スムーズに前へ進むことができます」と語りました。

（事業部会　K）

簡単にできる着付け
2回連続で講習会
夏の着物テーマに

私の祖母は着物を楽しむ人でした。早朝は店先の掃きそうじに始まり、商売の切り盛りをする傍ら、床の間の掛け軸を季節ごとに替え、花を生けて、祖父と昼たばこに抹茶をたしなむ姿はいつも着物でした。多忙な毎日の中でも暮らしを楽しむということを教えてくれた気がしています。

この夏、当女性会主催の着付け講習会が「割烹味処 ことぶき」（相生町）で2回連続行われたので、参加しました。講師は林原悦子さんでした。

レッスンを受ける参加者

第1回は6月27日に「単衣の着物」、第2回は7月11日に「浴衣の着付け」を受講。帯を手元で結んで背中にくるりと回すと出来上がりというとても簡単に思えるレッスンに一度ではまってしまいました。

2回目には、半幅帯で大人っぽい「貝の口」の結び方を習いました。「これは忘れぬうちに実践を」と思い、みなと祭に、水郷祭にと、浴衣を自分で着て出かけるチャンスを作り、この夏は「和」を満喫しました。

いつの日か、祖母のように着物で店頭に立てる日が訪れますように。

（会報部会　A）

新料理のPRに一役
まぐろ感謝祭にスタッフで

境港を代表する夏の味覚、天然本マグロ。今年も豊漁となりましたが、6月26日には鳥取県営境港水産物地方卸売市場で恒例の「境港まぐろ感謝祭」が行われました。今年で6回目。

同感謝祭では、初の試みとなる家庭でつくることができるマグロ料理の紹介とふるまいを当女性会が担当。「皮ポン」、「塩マグロとねぎの黒コショウ炒め」を来場者に試食してもらいました。

試食を呼びかける当会メンバー（左）

正直なところ、「あのぎわう会場では、前日に下ごしらえをしたマグロ4匹分の「皮ポン」は、開始から1時間ほどでなくなってしまうほど大好評。もちろん、「塩マグロとねぎの黒コショウ炒め」も簡単で、とっても美味しかったです。

まだまだ、マグロの楽しみ方はたくさんありそうですね。今後も知名度向上と消費拡大のお手伝いをしていきたいと思った一日でした。

（総務部会　H）

分厚いウロコに覆われたマグロの皮がおいしく食べられるのかな？と思っていた私でしたが、熱湯で10分ほど茹でて、ウロコを除き、冷水でしめると、ナント、ぷるぷるに。細切りにしてポン酢をかければ、美味なる一品の出来上がり。本当に「びっくりポン！」でした。

たくさんの来場者でにぎわう会場では、前日に下ごしらえをしたマグロ4匹分の「皮ポン」は、開始から1時間ほどでなくなってしまうほど大好評。もちろん、「塩マグロとねぎの黒コショウ炒め」も簡単で、とっても美味しかったです。

まだまだ、マグロの楽しみ方はたくさんありそうですね。今後も知名度向上と消費拡大のお手伝いをしていきたいと思った一日でした。

（総務部会　H）

最後に次回開催地の津山商工会議所女性会の皆さんが「来年は、津山で会いましょう」と笑顔でPRして閉会となりました。

（事業部会　K）

境港商議所女性会 会員
ひとことPRタイム

境港商工会議所女性会の会員が自己紹介をするこのコーナー。今回は、遠藤貴美子さんと遠藤瑞穂さんのお二人に登場していただきました。

遠藤貴美子（えんどう・きみこ）
㈲遠藤通船
（境港市入船町）

〈事業所のあらまし〉
境港に入港する国内外の大型貨物船などの接岸・離岸作業や水先人、船員さんらの送迎などの港湾作業を営んでいます。

〈ひとことPR〉
気象状況の変化に対処し、近年入港が増加しているクルーズ客船などの安全確保と正確な作業を提供することで、港の活性化と発展に協力していきたいと思っています。

遠藤瑞穂（えんどう・みずほ）
㈱ケンズホーム
（境港市元町）

〈事業所のあらまし〉
10坪程の貸事務所に机とイス…。主人と二人で始めた不動産業も創業25年となりました。何の経験もない私は主人に教わり、独自にお客様とのコミュニケーション作りに一生懸命だったと思います。

〈ひとことPR〉
アパート・一戸建てなどの賃貸業、土地・建物の仲介、中古のリフォーム販売や土地の分譲と、境港市内を中心に頑張っています。特にリフォームの売家は、お客様から「いつ出るの」と待っています。普段はお付き合いのない皆さんと出会い、女性ならではの感性、細やかな気配りなど、色々と学ばせていただき、楽しく参加しています。

境港を好きになってもらい、そこで生活をしてもらうことが地域発展につながり、少しでもお役に立つお手伝いだと自負しています。

よく、お客様から声を掛けてもらいます。「ケンズホームの奥さんですね！」と。嬉しい限りですね。仲介という難しい立場の職業ですが、日々勉強の毎日です。

会では年間を通して様々な行事を展開されています。

今では息子も手伝うようになり、従業員2人と計5人で地域密着、町の不動産屋として頑張っています。

ただくようになりました。

（総務部会　H）